

広島千葉県人会報

(第4号)
H29.6.1
発行責任者
会長
大曾根哲夫

第22回広島男子駅伝 千葉県チーム惜しくも9位

天皇盃第22回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会は、平成29年1月22日原爆ドームのある平和記念公園前と広島神社入口の宮島口を結ぶ「世界文化遺産ロード」の折返し7区間、48キロのコースで行われました。

大会では、リオ五輪代表選手はじめ次の東京五輪代表を目指す日本全国の中学、高校、大学、社会人から選ばれた陸上中長距離界の精鋭達が、故郷の想いを襟に繋いでの激走でした。

滝田輝行監督率いる千葉県チームは、1区鳥飼悠生(市船橋高) 2区松永伶(前原中) 3区浅岡満憲(日立物流) 4



区村上純大(専修大松戸) 5区小島海斗(市船橋高) 6区佐藤真優(我孫子中) 7区濱滝大記(富士通)の選手達が襷をつなぎました。
中学生は県内トップクラス、高校生は県及び全国高校駅伝で、社会人は元旦のニューイヤーマラソンで、それぞれ好成績を挙げた逸材揃いの布陣、前評判でも上位入賞が確実視されていました。
レースは途中激しい向かい風や粉雪にも見舞われながら、沿道の熱い声援を背に疾走、熱走、激走。千葉県チームは、1区から終始上位をキープ、4区折返地点で1位を争う勢いが大型ビジョンに映



ると、県人会応援団は大興奮。結果は惜しくも入賞に今一步の9位(2時間21分32秒)に終わりました。

ふるさと広場では、恒例の県名産品落花生の特売が好評で完売。遠路駆けつけてくれたゆるキャラ「チーバ君」は、カープカラーで大人気、応援に大奮闘。

大会終了後、市内リーガロイヤルHで開催された広島千葉県人会主催の「こくろうさん会」には、選手団、県人会応援団に関西千葉県人会会長も特別参加、総勢56名が集い、大盛況。

会場では「今年テレビに終始千葉県選手が映っていて感激だった」「トップ争いに手に汗を握った」「今一步で惜しかった。この悔しさを来年に繋げよう」などの声が交わされ、選手団に暖かな慰労と激励の声が送られました。

20日選手お出迎え、21日開会式、22日駅伝本番の応援、ふるさと広場運営、こくろうさん会と駅伝漬けでした。



滝田監督談

今回の大会は、前半3区間の流れが良く、第4区で希望のトップに立つことができました。結果は9位に終わりましたが、今後につながる大会だったと思います。



大曾根会長談

千葉県チームはこれまで中高生は頑張るが、一般が今一つと言われてきた。しかし、昨年からは一般を強化してきた。今年はやれるぞ!その期待に添えて、選手諸君は一生懸命頑張ってくれた。結果は第9位、惜しくも入賞を逃したが、次への大きな期待がふくらむ成績だと思ふ。

優勝の栄冠に輝く日も近い。広島千葉県人会は620万千葉県民に代わって力いっぱい応援を続けよう。

写真は、駅伝関係2日間の記録です。

主な事業報告

- 5月9日 関東地区都・県人会交流会
- 5月20日 会長、千葉県庁千葉陸協へ
- 6月1日 広島千葉県人会親睦ゴルフ
- 6月18日 在広島都道府県人会交流会
- 7月10日 広島千葉県人会ピールの会
- 9月16日 関西千葉県企業誘致セミナー(千葉県知事、関西千葉県人会との交流)

入会のご案内

- 10月27日 中国新聞主催第22回駅伝開催の打合せ
- 12月4日 広島千葉県人会総会
- 1月6日 広報担当者打合せ
- 1月6日 役員会、駅伝応援の打合せ
- 1月20日 駅伝選手団出迎え
- 1月21日 駅伝開会式、駅伝応援来訪者との懇親会
- 1月22日 駅伝本番応援、ふるさと広場千葉県ブースの運営、こくろうさん会

千葉県にゆかりのある方、入会のご連絡・お問い合わせを、心からお待ちしております。
入会して戴ける方は、ホームページ(検索方法は左記を参照又は左記連絡先へ)二報願います。
入会費 無料 年会費 2000円
連絡先 君塚弥六(事務局長)
電話・fax 082-877-6050
県人会ホームページの検索方法は、インターネットで「広島千葉県人会」を入力してクリック。
多数の写真が掲載されています。

28年ビールの会 カーブ優勝を話題に乾杯

「ビールの会」は、千葉県人会夏の恒例行事になりました。昨年も7月10日に開催され、29名が参加して大賑わい。

当日、会員の鎗田圭一郎先生の「ミニ健康情報(尿酸、コレステロール)」のお話に、健康に関心の高い年齢層が多い県人会では、「こうしてお話は継続して伺いたい」希望が寄せられ好評でした。

折から快進撃中のカーブが話題になって「優勝すれば25年ぶり、前回優勝時の興奮をもう一度味わいたい(これは現実になった)」とか「千葉生まれだが千葉ロッテファンではなく、長年広島カーブファン」と広島びいきの話で盛り上がり、冷たいビールで喉を潤し美味しい料理を味わいながら、賑やかで楽しい一夕を過ごしました。



28年度総会&懇親会

広島千葉県人会平成28年度定時総会が懇親会を兼ねて、26名(内新入会員1名)の会員の参加で、市内リーガロイヤルHで平成28年12月4日に開催されました。

事業・会計の報告、説明、承認の後、引き続き開催された懇親会では、大曽根会長挨拶に続き、松井一實さん(広島市長)から5月(昨年)に広島を訪問されたオバマ大統領の礼状の紹介があり、続いて恒例の一人一言近況報告で盛り上がりました。

最後に新年に開催される天皇盃第22回全国都道府県対抗男子駅伝の応援計画を語り、県人会会員一丸となって千葉県チームの勝利に向けて応援することを約束し、散会しました。



会員便り



寺本宏身

私は佐原(今の香取市)で生まれ、銚子で育ちました。小学校6年生まで佐原にいて中学校と高校は銚子で過ごしました。佐原で思い出すのは辛かった風呂の水汲みです。小さな小学生が大きなバケツを両手に下げて五十メートルほど離れた共同井戸から何回も往復し水を運びました。終戦直後のことです。

銚子では犬吠埼の近くに住んでいました。霧が濃い日は灯台の霧笛が聞こえたものです。高校三年生の時、今の妻と初めてデートしたのも犬吠埼が舞台でした。今年三月に何年かぶりで銚子に里帰りしました。寂しいことに銚子は人口が十方から六方に減り商店街もシャッターが目立ちました。しかし私のふるさと、犬吠埼の灯台は昔のままでした。



山根久和

私が千葉県柏市を離れて今年で25年目を迎えました。この間広島で大学進学、就職、転職、結婚し、現在は広島市西区に本社を構える警備会社を経営しています。

人生の大半を広島県にて過ごしておりませんが、とはいえ年に数度は出張の際に千葉県の実家にも帰省いたしますし、高校時代の友人と酒を酌み交わすなど、千葉県との縁も切らずにいます。

広島千葉県人会には入会して13年が経過し、現在は事務局長という役を仰せつかっています。大曽根会長に同行し関西千葉県人会や在広の関東県人会の方がたとの交流会にも出席させていただいたり、多くの方々とな交流の機会をいただくことができ、非常に感謝しております。

これからも体は広島、心は千葉の気持ちで県会にも積極的に参加していきまうので、どうかよろしくお願いたします。

会員往来

- 入会 鶴澤 哲也 茂原市
- 下野 元也 船橋市
- 山崎 崇 市川市
- 休会 佐藤 龍(福岡へ転勤(単身))
- 松本 孝典 対馬へ転勤(単身)

筆の滴

広島で輝いている千葉県人

今輝いている人は、昨季のセ・リーグ覇者「広島東洋カープ」の丸佳浩選手。丸選手は、千葉県勝浦市出身、千葉経済大学付属高校2年の夏と3年のセンバツで甲子園へ、投手として活躍、平成19年のドラフトで広島東洋カープから指名を受けて入団されました。

入団4年目で早くも1軍に定着、以後実績を積み上げ、近年は「3番、セクター」でスタメン出場を続け、この間4年連続のゴールドグラブ賞、2度のベストナイン賞を受賞するほか、平成25年から連続して国際試合の日本代表選手に選出されるなど、今では日本プロ野球界を代表する選手に成長されました。

今季の「カーブ」は、セ・リーグで連覇し日本チャンピオンが目標。丸選手には今季更なる期待が寄せられています。同郷人丸選手の活躍を応援しましょう。

編集後記

会報第4号をお届けします。

県人会の主なイベントは、1月の駅伝に始まり、7月のビールの会、12月の総会で終わり、その記録はホームページと会報の2本立てでお知らせしています。会報は年1回ですがホームページはその都度更新されています。是非両方をお読み頂き、感想や御意見をお寄せください。

- 君塚 弥六 押尾 輝明
- 下枝 信之 川口 剛